

# 学生の動向

## 1.学生の就職観・大手企業志向 P63

『2017年卒マイナビ大学生就職意識調査』より、学生の就職観、大手志向、就職希望度について掲載。

## 2.企業選択のポイント P64

『2017年卒マイナビ大学生就職意識調査』より、企業選択の際よいと思う会社、行きたくない会社について掲載。

## 3.業界研究・企業研究の実施状況、活動の中心 P65

『2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』より、3月から7月までの業界研究、企業研究及び自己分析の実施状況と、活動の中心としている企業規模について掲載。

## 4.月別エントリー状況 P66

『2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』より、3月から7月までのエントリー行動の推移、平均エントリー社数(回答数全体を母数とした集計の平均)、また累計エントリー社数の経年比較を掲載。

## 5.月別個別企業セミナー参加状況 P67

『2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』より、3月から7月までの個別企業セミナー予約・参加状況、平均参加社数(回答数全体を母数とした集計の平均)、また累計セミナー参加社数の経年比較を掲載。

## 6.エントリーシートの取り寄せ、提出、通過状況 P68

『2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』より、3月から7月までのエントリーシート取り寄せ・提出・通過状況、平均社数(回答数全体を母数とした集計の平均)、また累計エントリーシート提出社数と通過社数による通過率を掲載。

## 7.適性検査受検状況、面接受験状況、OB・OG訪問状況 P69

『2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』より、3月から7月までの適性検査の受検状況、面接受験状況、OB・OG訪問、人事担当者と会った状況について掲載。

## 8.内々定状況 P70

『2017年卒マイナビ大学生就職内定率調査』より、内々定保有率(文理男女別・地域別)、内々定保有社数(内々定保有者の平均、複数内々定保有率)、内々定保有者の活動終了状況について掲載。

# 学生の就職観・大手企業志向

学生の就職観の1位は「楽しく働きたい」(29.9%、前年比2.3pt減)で、この十数年変わらず、文系男女すべてでトップであった(図1)。2位の「個人の生活と仕事を両立させたい」(24.5%、前年比0.4pt増)は、近年増加傾向にある。前年就職活動のスケジュール変更の影響により減少に転じた大手企業志向(「絶対に大手企業がよい」+「自分のやりたい仕事のできるのであれば大手企業がよい」)は、前年の内定率上昇や選考活動開始時期の変更により大手企業の選考が6月に前倒しされることもあり、前年比5.5pt増の48.4%と増加に転じた。特に、今年は文系男子の大手志向の割合が高くなっている(図2・図3)。

## ◆学生の就職観

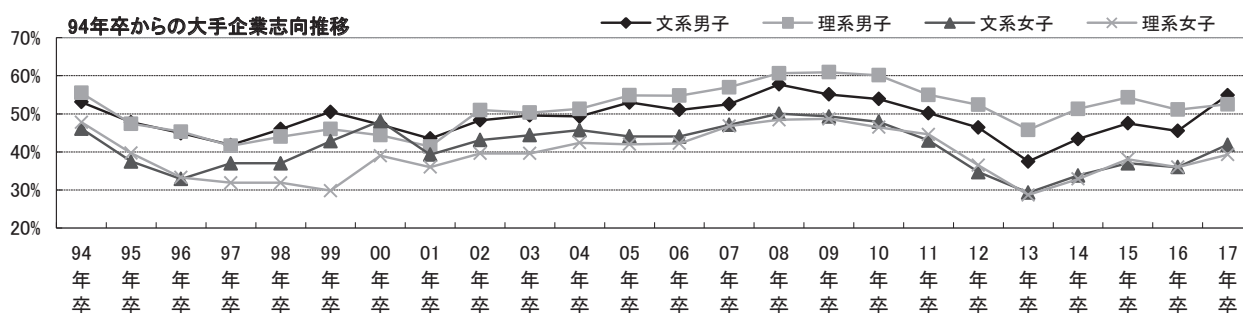
	全体		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
	17年卒	16年卒	17年卒	16年卒	17年卒	16年卒	17年卒	16年卒	17年卒	16年卒
収入さえあればよい	2.8%	2.6%	3.6%	3.1%	4.2%	3.8%	1.3%	1.4%	1.7%	1.8%
楽しく働きたい	29.9%	32.2%	25.2%	29.2%	28.8%	30.0%	34.4%	36.2%	32.8%	34.2%
自分の夢のために働きたい	10.8%	11.8%	11.7%	12.2%	12.1%	13.9%	9.0%	10.1%	11.0%	10.8%
個人の生活と仕事を両立させたい	24.5%	24.1%	22.1%	22.1%	21.3%	21.7%	28.7%	27.7%	26.1%	24.9%
プライドのもてる仕事をしたい	6.4%	6.2%	7.9%	7.4%	7.1%	6.9%	4.8%	4.7%	4.8%	5.7%
人のためになる仕事をしたい	17.7%	16.3%	19.5%	17.4%	16.0%	15.1%	17.1%	15.9%	18.2%	17.2%
出世したい	1.4%	1.0%	2.0%	1.6%	2.3%	1.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%
社会に貢献したい	6.5%	5.7%	8.0%	7.0%	8.2%	7.1%	4.3%	3.6%	5.0%	4.9%

(図1)

## ◆大手志向

	全体		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
	17年卒	16年卒	17年卒	16年卒	17年卒	16年卒	17年卒	16年卒	17年卒	16年卒
絶対に大手企業がよい	10.3%	6.9%	14.6%	8.4%	11.3%	9.4%	6.9%	4.4%	5.5%	4.3%
自分のやりたい仕事のできるのであれば大手企業がよい	38.1%	36.0%	40.3%	37.1%	41.2%	41.7%	35.0%	31.6%	33.8%	31.7%
やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい	38.9%	42.6%	33.8%	40.1%	36.9%	38.1%	43.4%	46.9%	45.2%	47.9%
中堅・中小企業がよい	8.1%	9.9%	6.1%	8.5%	6.5%	7.6%	10.2%	12.3%	11.0%	11.9%
その他(公務員 Uターン志望など)	4.2%	4.2%	4.5%	5.0%	3.7%	2.8%	4.3%	4.6%	4.3%	3.8%
自分で会社を起こしたい	0.4%	0.5%	0.6%	0.8%	0.4%	0.4%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%
「絶対に大手企業がよい」+「自分のやりたい仕事のできるのであれば大手企業がよい」	48.4%	42.9%	54.9%	45.5%	52.5%	51.1%	41.9%	36.0%	39.3%	36.0%

(図2)



(図3)

## ◆就職希望度

	17年卒	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	16年卒
A: なにがなんでも就職したい	87.6%	86.3%	88.8%	87.4%	89.6%	87.7%
B: 希望する就職先に決まらなければ、就職しなくともよい	12.4%	13.7%	11.2%	12.6%	10.4%	12.3%

(図4)

前問でBと答えた場合の進路	17年卒	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	16年卒
進学(留学、大学院進学)	28.8%	20.8%	43.3%	24.2%	41.0%	26.4%
卒業して次年度就職活動する	25.8%	28.8%	18.0%	28.0%	25.5%	28.2%
フリーター	22.2%	15.5%	15.1%	34.3%	22.6%	24.1%
就職留年	17.5%	27.2%	15.9%	11.0%	7.5%	15.7%
起業	5.6%	7.7%	7.8%	2.5%	3.3%	5.6%

(図5)

『図1~5 出所: 2017年卒マイナビ大学生就職意識調査』

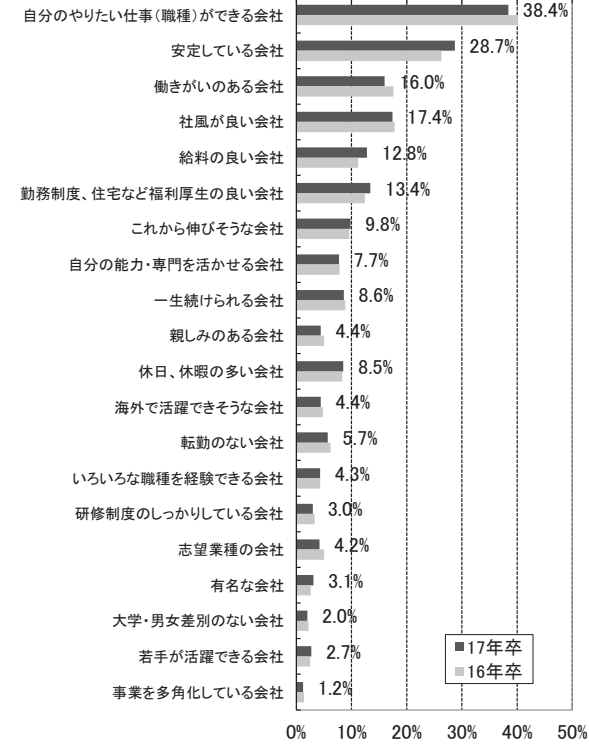
# 企業選択のポイント

企業選択のポイントにおいて、よいと思う会社は「自分のやりたい仕事(職種)ができる会社」(38.4%、前年比1.8pt減)が、最も選ばれる項目でありながらも、01年卒調査以降最も低い割合になった。対照的に「安定している会社」(28.7%、前年比2.4pt増)は、01年卒調査以来最も高い割合であった。(図1・図2)

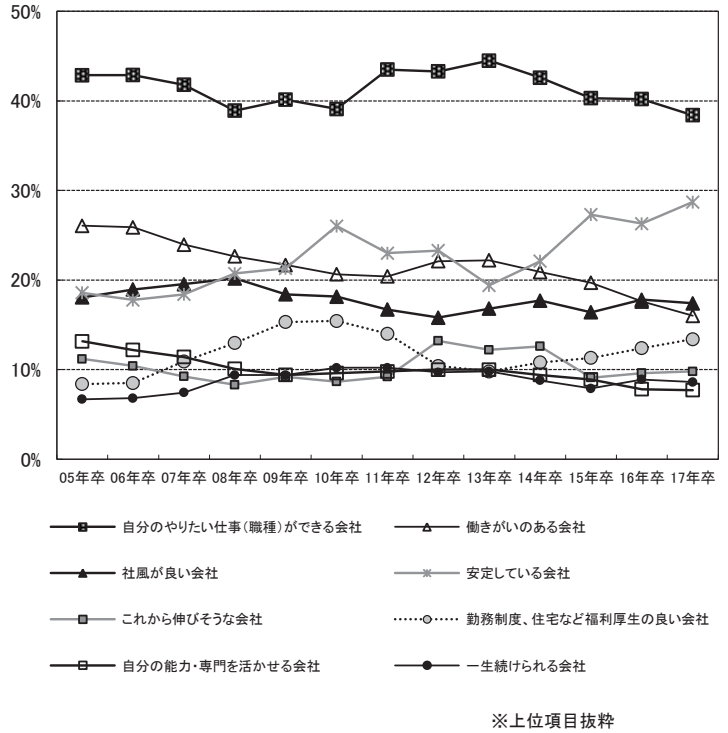
行きたくない会社は、引き続き「暗い雰囲気のある会社(36.0%)」、「ノルマのきつそうな会社(30.4%)」で、若干ではあるが、前年より低い結果となった。(図3・図4)

## ◆企業選択の際、よいと思う会社

前年比 ※数字は17年卒

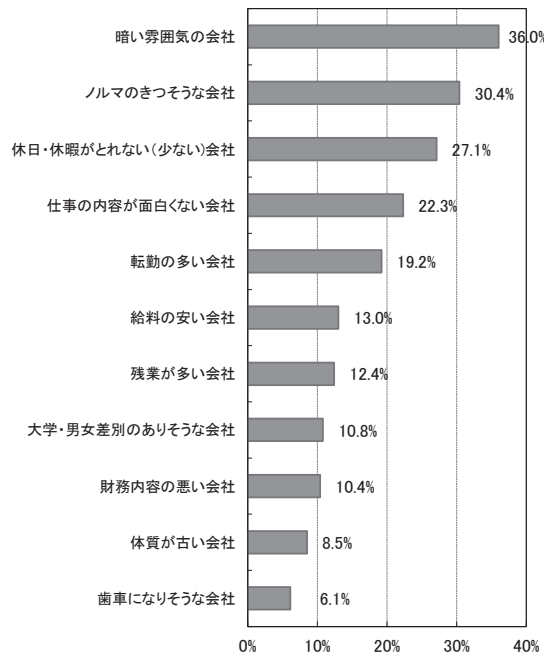


(図1)

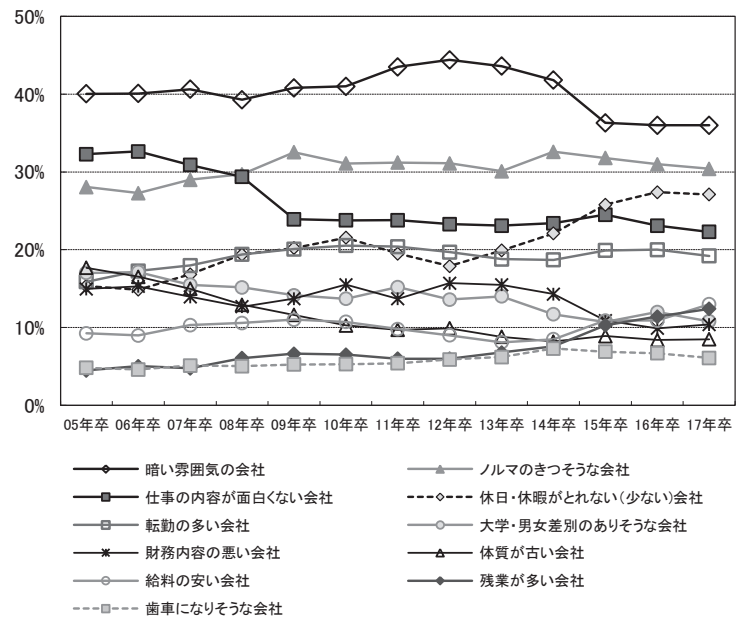


(図2)

## ◆行きたくない会社



(図3)



(図4)

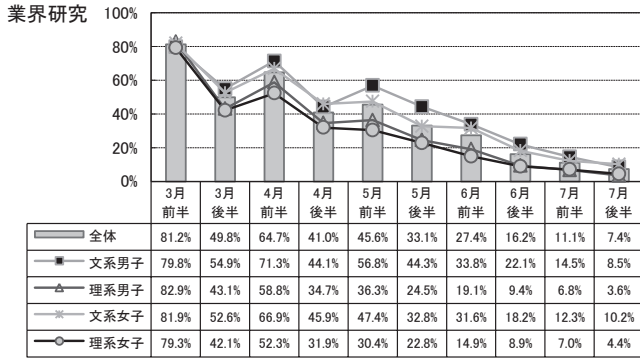
『図1~4 出所:2017年卒マイナビ大学生就職意識調査』

# 業界研究・企業研究の実施状況、活動の中心

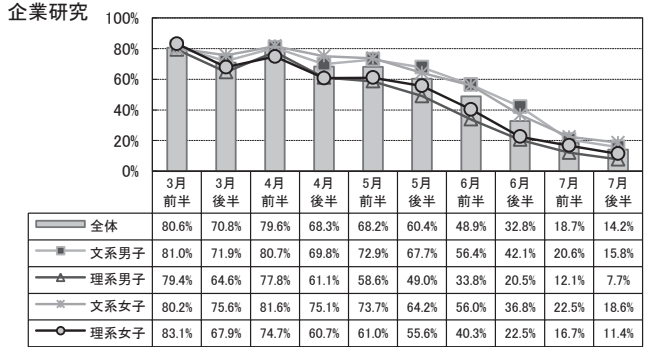
業界研究は前年同様3月～4月にかけて多くの学生が取り組んだと回答している(図1)が、企業研究は、3月前半～5月後半まで全体の6割以上が取り組んだと回答している(図2)。今年は、業界研究もそこに企業研究に進んでいたことが分かる。活動の中心を企業規模を軸に比較した結果では、全体として「大手企業中心(どちらかといえば、を含む)」であったが、6月以降に「どちらともいえない」や「中小企業中心」が増加。選考活動解禁後の大手企業の内々定出しの結果を踏まえ、活動の中心を変更する姿が見られる(図3)。

## ◆業界研究・企業研究の実施状況

以下のグラフは当該期間に「業界研究をした」「企業研究をした」という行動をとった学生の比率を文理男女別に表しています。



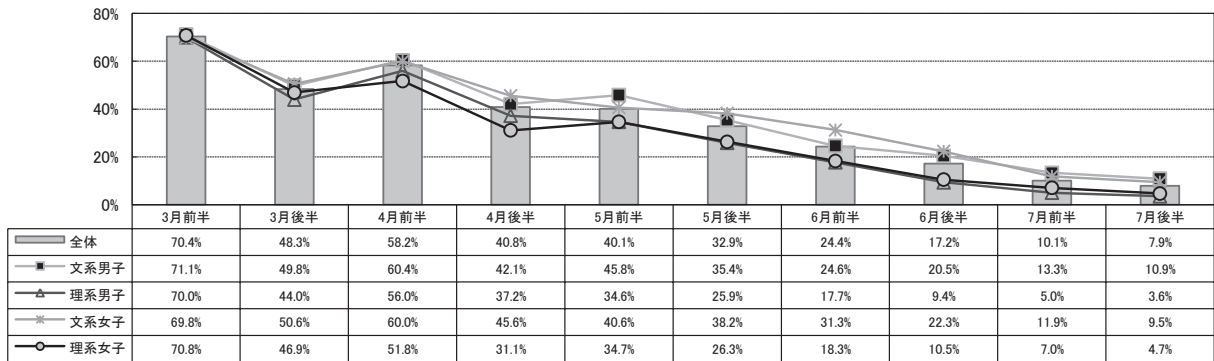
(図1)



(図2)

## ◆自己分析の実施状況

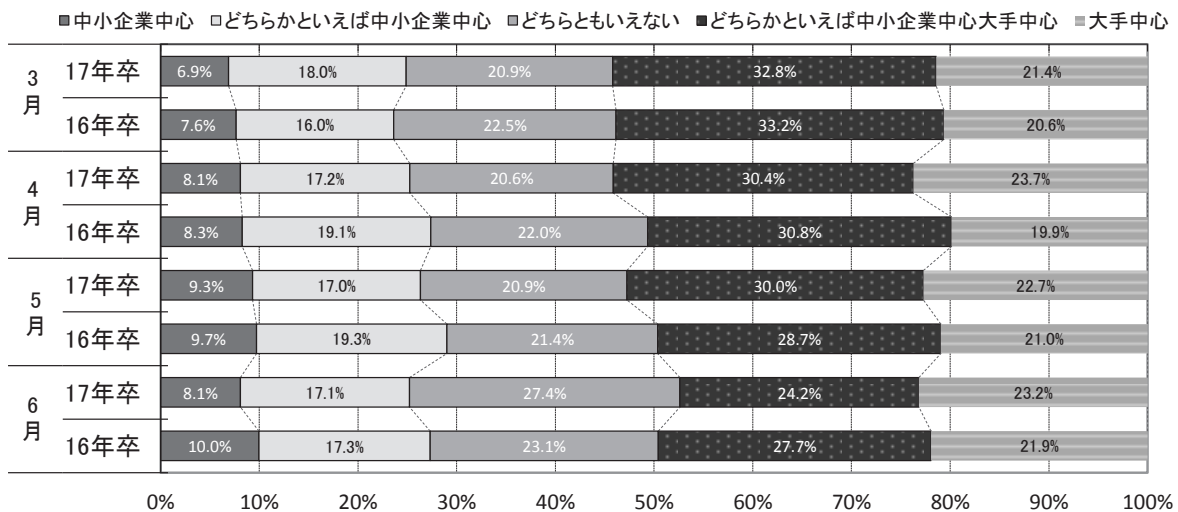
以下のグラフは当該期間に「自己分析をした」という行動をとった学生の比率を文理男女別に表しています。



(図3)

## ◆活動の中心とした企業規模

以下のグラフは、調査月の「活動の中心としていた企業の規模」について聞いた結果です。



(図4)

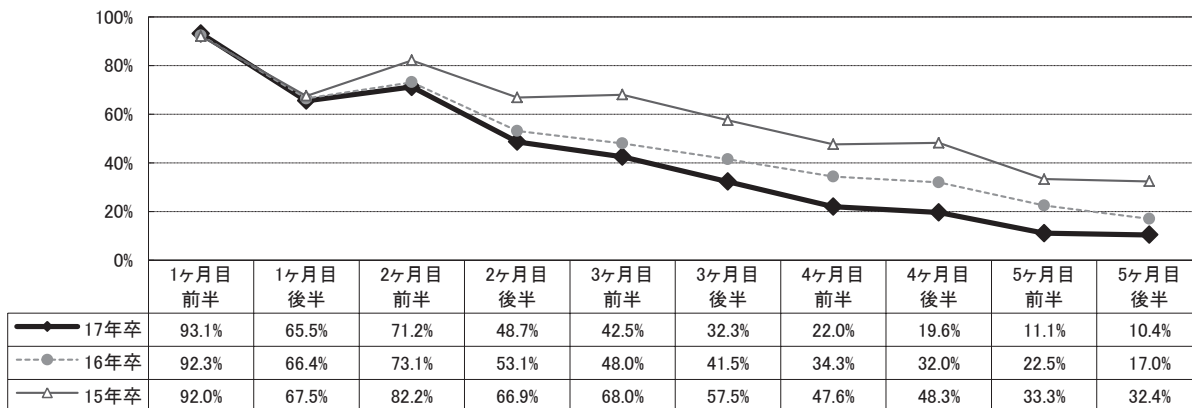
『図1～3 出所:2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』  
『図4 出所:2016年卒～2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』

# 月別エントリー状況

エントリーを行った学生の割合は広報活動開始1ヶ月目前半にこそ、かろうじて前年を超えたものの、以降は前年を下回り特に3ヶ月目以降は低調に推移している(図1)。

学生1人当たりのエントリー社数平均も前年を下回る数値で推移しており(図2)、開始5ヶ月目で比較した場合、前年よりも約10社、前々年よりも約47社少ない結果となった(図3)。累計エントリー社数は活動期間に違いはあるものの、過去13年で最も少なかった。

## ◆エントリー行動の推移(全体)



グラフは当該期間に「エントリーした」という学生の比率を表しています。

(図1)

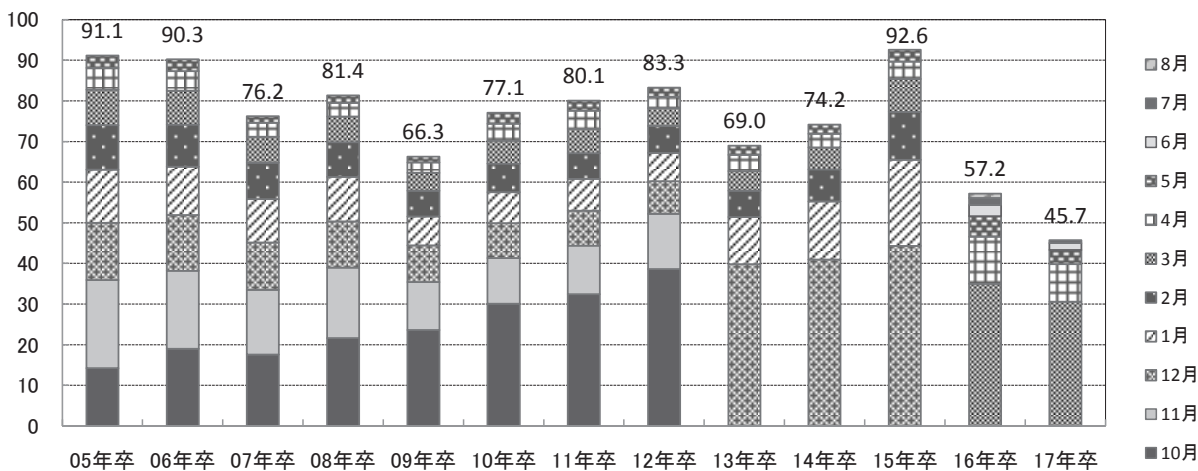
## ◆平均エントリー社数(回答数全体を母数とした集計の平均)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	累計	前年比
全体										
17年卒	-	-	-	30.6	9.2	3.5	1.7	0.7	45.7	▲ 10.4
16年卒	-	-	-	35.0	11.6	5.0	2.8	1.7	56.1	▲ 36.5
15年卒	44.3	21.2	11.8	8.1	4.3	2.9	-	-	92.6	-
文系男子										
17年卒	-	-	-	35.4	12.7	3.6	2.9	0.7	55.3	▲ 17.2
16年卒	-	-	-	44.7	14.2	7.2	3.7	2.7	72.5	▲ 39.7
15年卒	51.7	26.1	15.7	10.9	5.0	2.8	-	-	112.2	-
理系男子										
17年卒	-	-	-	24.1	7.0	2.8	1.2	0.4	35.5	▲ 7.4
16年卒	-	-	-	27.1	9.3	3.6	1.9	1.0	42.9	▲ 35.9
15年卒	39.4	19.8	9.8	5.4	2.8	1.6	-	-	78.8	-
文系女子										
17年卒	-	-	-	36.6	10.4	4.6	1.9	1.2	54.7	▲ 12.6
16年卒	-	-	-	40.5	14.5	6.0	4.1	2.2	67.3	▲ 40.3
15年卒	50.2	25.2	13.1	8.7	5.6	4.8	-	-	107.6	-
理系女子										
17年卒	-	-	-	29.5	8.2	3.3	1.5	0.4	42.9	▲ 5.5
16年卒	-	-	-	31.1	9.6	4.1	2.1	1.5	48.4	▲ 31.9
15年卒	38.9	15.9	9.9	8.4	4.4	2.8	-	-	80.3	-

(単位:社)

(図2)

## ◆累計エントリー社数(05年卒～17年卒)



(単位:社)

(図3)

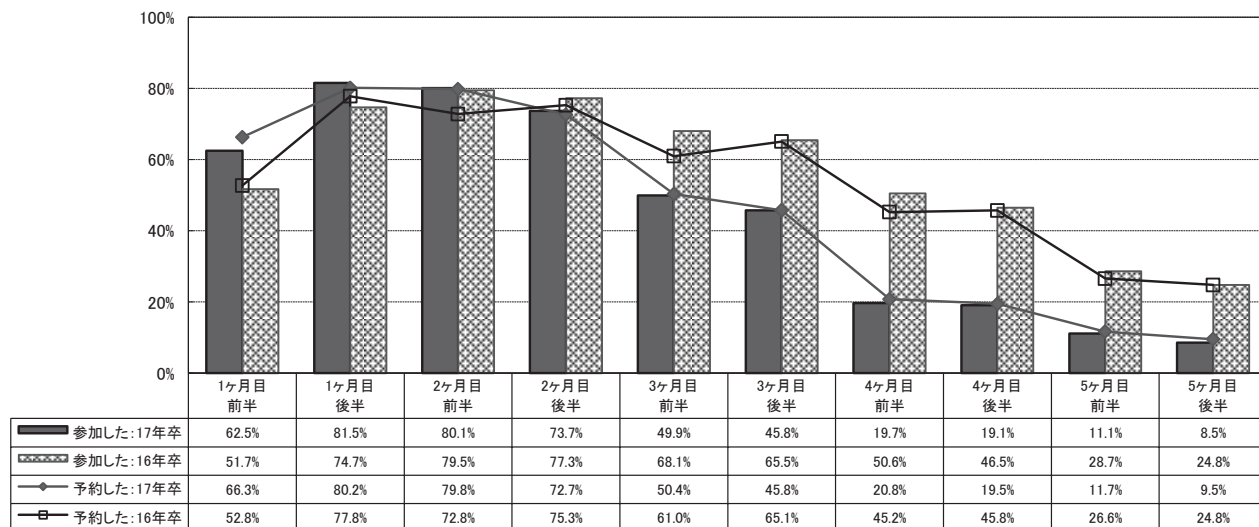
『図1・2 出所:2015年卒～2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』

『図3 出所:2006年卒～2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』

# 月別個別企業セミナー参加状況

個別企業セミナーへ参加した学生の割合は開始直後の1ヶ月目後半(3月後半)から2ヶ月目前半(4月前半)の1ヶ月間において8割を超えたが、3ヶ月目前半(5月前半)には半数を割り、総じて前年より早めに個別企業セミナーへの参加が収束していたことが分かる(図1)。個別企業セミナーの平均参加社数は、広報活動開始後の3月では前年を大きく上回った。しかし、開始5ヶ月の延べ参加社数では、19.4社と前年を3.9社下回る結果となった(図2)。累計セミナー参加社数を過去9年と比較すると、09年卒に続き2番目に少ない(図3)。

## ◆個別企業セミナー予約・参加状況



グラフは当該期間に「個別企業セミナーに予約した」、「参加した」という行動をとった学生の比率を表しています。

(図1)

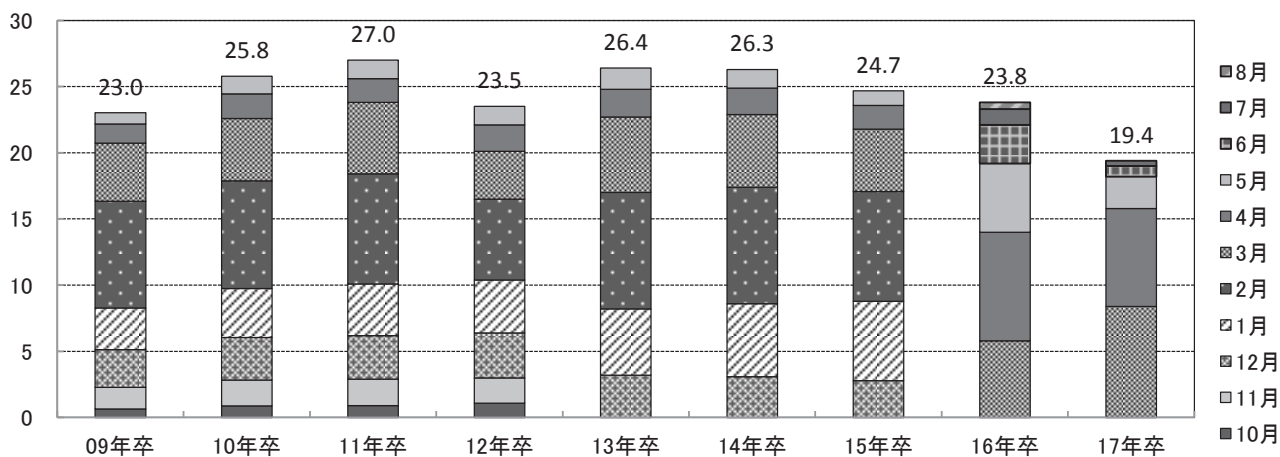
## ◆個別企業セミナー参加社数(回答数全体を母数とした集計の平均)

		3月	4月	5月	6月	7月	合計	前年比
全体	17年卒	8.4	7.4	2.4	0.8	0.4	19.4	▲ 3.9
	16年卒	5.8	8.2	5.2	2.9	1.2	23.3	-
文系男子	17年卒	10.2	9.3	2.8	1.3	0.5	24.1	▲ 9.7
	16年卒	8.1	11.5	8.0	4.6	1.6	33.8	-
理系男子	17年卒	7.0	5.5	1.7	0.7	0.3	15.2	▲ 1.7
	16年卒	4.6	6.3	3.5	1.8	0.7	16.9	-
文系女子	17年卒	9.9	10.5	3.4	0.9	0.6	25.3	▲ 2.4
	16年卒	6.1	9.5	6.8	3.8	1.5	27.7	-
理系女子	17年卒	7.3	5.7	2.1	0.7	0.3	16.1	▲ 2.0
	16年卒	4.8	6.6	3.7	2.0	1.0	18.1	-

(単位:社)

(図2)

## ◆累計セミナー参加社数(09年卒~17年卒)



(単位:社)

(図3)

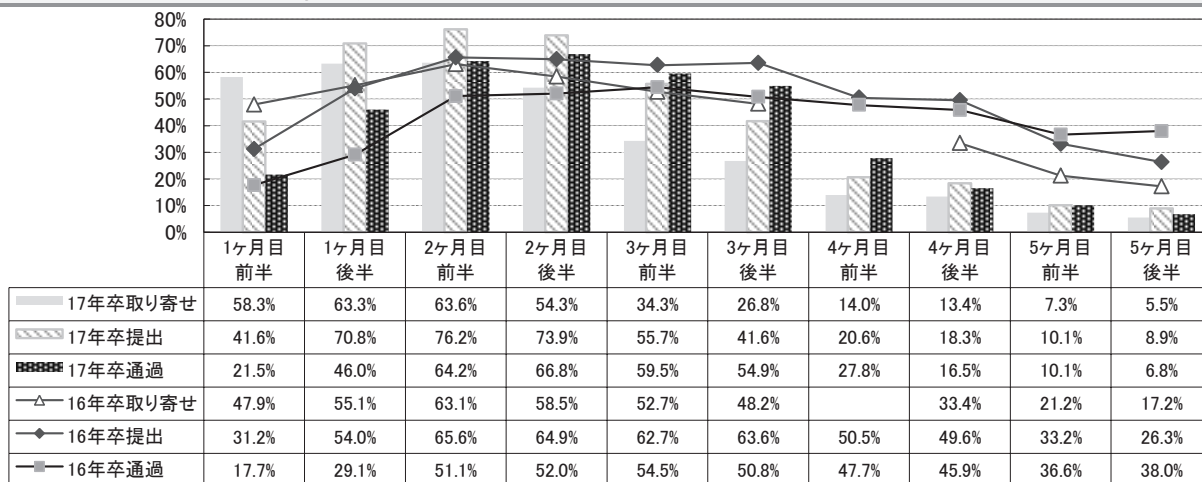
『図1・2 出所:2016年卒~2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』

『図3 出所:2009年卒~2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』

# エントリーシートの取り寄せ、提出、通過状況

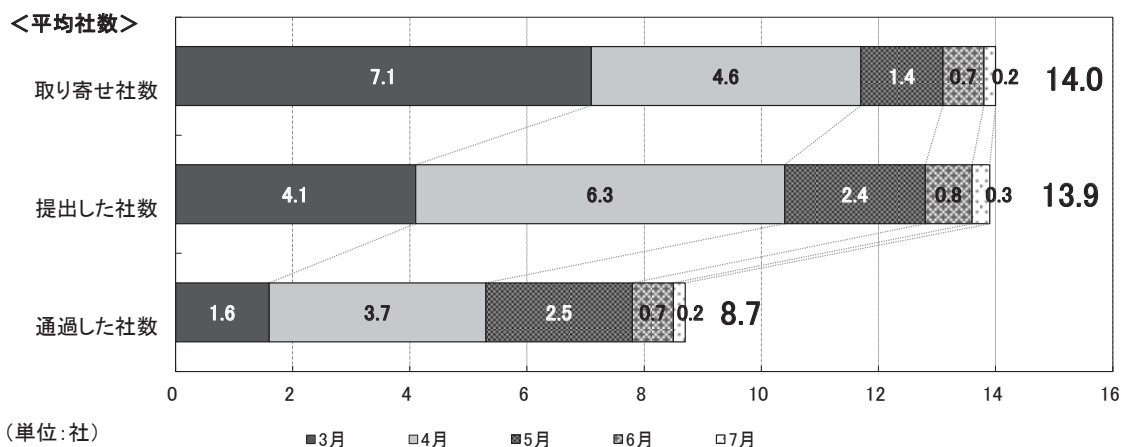
エントリーシートの取り寄せ及び提出のピークは前年同様、開始2ヶ月目の前半(4月前半)となった。通過時期については、16年卒が3ヶ月目前半であったのに比べ、2ヶ月目後半がピークとなっており、前倒して結果が出ていたことが分かる。エントリーシートの平均取り寄せ社数(累計)は14.0社、提出は13.9社、通過は8.7社に(図2)。エントリーシートの通過率は全体で62.6%となり、文理男女別に比較すると、男子が女子より高い傾向にある(図3)。

## ◆企業へのエントリーシート取り寄せ・提出・通過



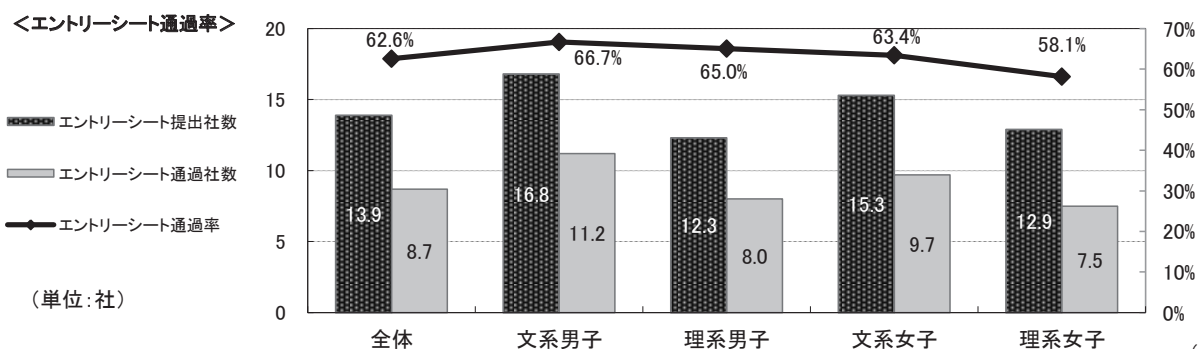
(図1)

## ◆エントリーシートの平均社数(取り寄せ・提出・通過)



(図2)

## ◆エントリーシートの通過率【文理男女別】



(図3)

『図1 出所:2016年卒～2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』

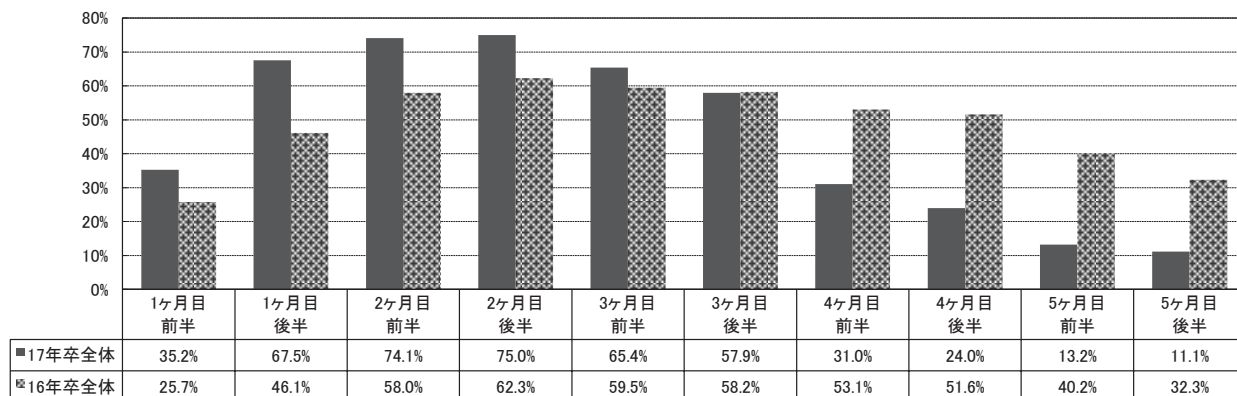
『図2・3 出所:2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』

# 適性検査受検状況、面接受験状況、OB・OG訪問状況

適性検査受検のピークは2ヶ月目後半(4月後半)で前年と変わらないものの、全体的に前倒しで受検が進んだ。4ヶ月目(6月)以降の急激な減少は6月の選考を受けた結果といえる(図1)。「一次面接を受けた」割合は、早くも2ヶ月目後半にピークとなっている。「最終面接を受けた」割合は、前年より2ヶ月早い4ヶ月目、つまり選考解禁直後(6月前半)がピークとなっている(図2)。「OB・OG・リクレーターと会った」割合は、1ヶ月目後半から2ヶ月目後半まで、大幅に前年より上回っていた(図3)。

## ◆適性検査の受検状況

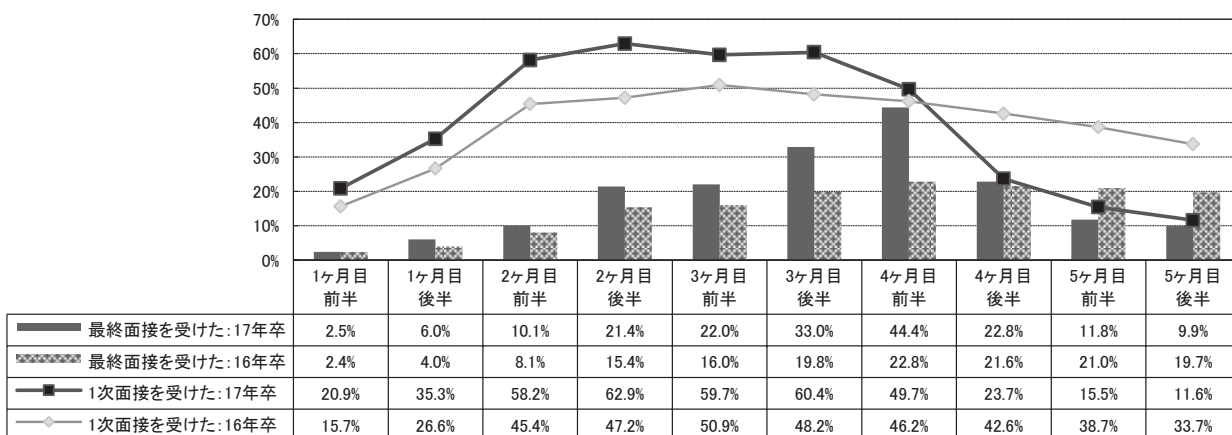
以下のグラフは当該期間に「適性検査を受けた」学生の比率を表しています。



(図1)

## ◆一次面接、最終面接受験状況

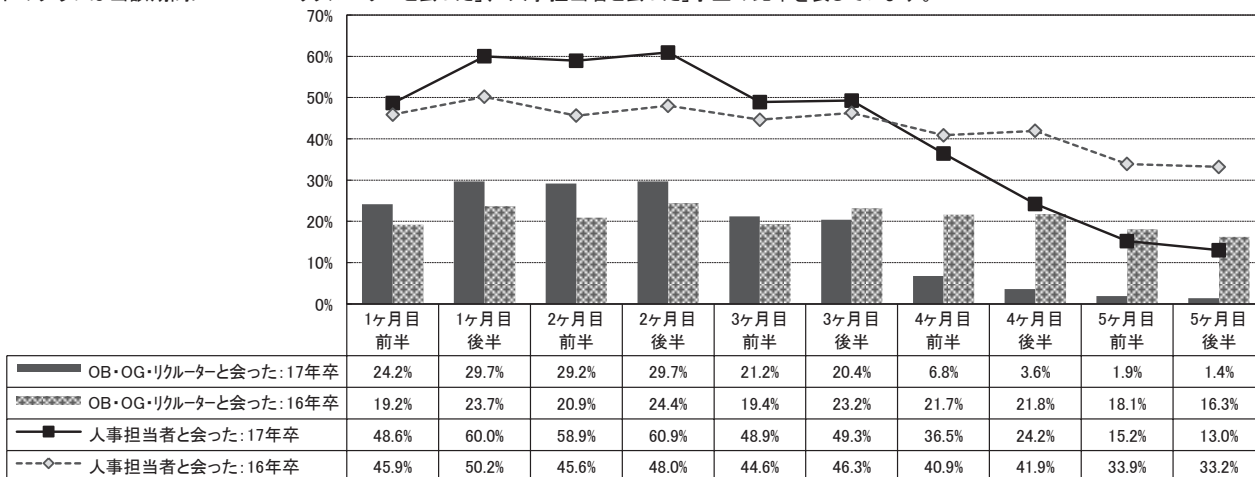
以下のグラフは当該期間に「一次面接を受けた」、「最終面接を受けた」学生の比率を表しています。



(図2)

## ◆OB・OG訪問状況、人事担当者と会った状況

以下のグラフは当該期間に「OB・OG・リクレーターと会った」、「人事担当者と会った」学生の比率を表しています。



(図3)

『図1～3 出所:2016年卒～2017年卒マイナビ学生就職モニター調査』



# 内々定状況

7月末時点の内々定保有率は72.7%（図1）と、前年8月の保有率69.1%を超える結果となった。選考開始月となる6月の平均内々定保有社数は2.0社と、前年の選考開始月である8月には及ばないが、過半数の学生が複数内々定を持っていたことがわかる。今後の活動継続の意向は6月で「内々定先に不満なので続行する」が11.5%「内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する」が24.3%となり、不満の有無にかかわらず、前年8月時点より活動を続行すると答えた学生が若干多い。短期間の就職活動であったが故の、揺れ動く学生の心の内が見受けられるといえよう。

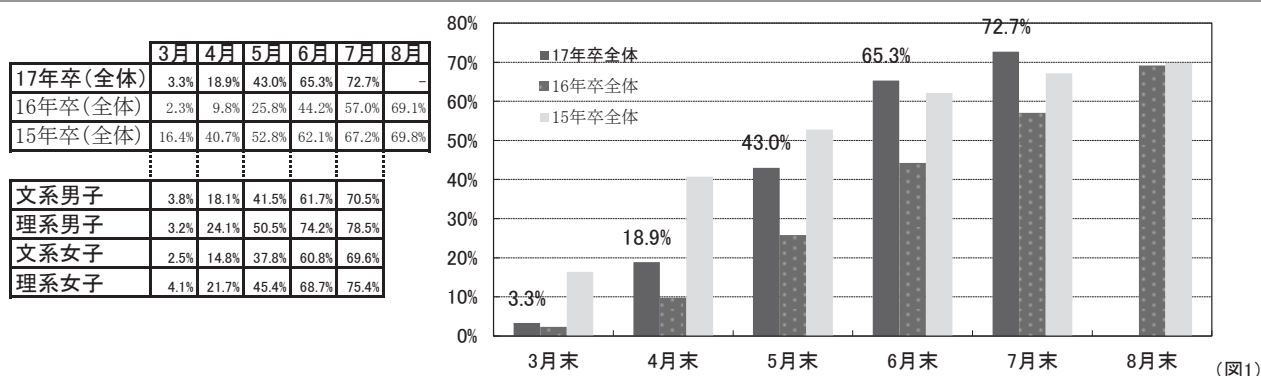
## ◆内定率調査概要

調査対象：マイナビに登録している2017年3月卒業見込みの全国大学4年生、大学院2年生  
調査方法：WEBアンケートフォーム

調査期間 / 回答数

3月調査 2016年3月27日～4月1日 / 9,628名      6月調査 2016年6月25日～6月30日 / 8,220名  
4月調査 2016年4月27日～5月1日 / 9,025名      7月調査 2016年7月26日～7月31日 / 6,404名  
5月調査 2016年5月26日～5月31日 / 9,446名

## ◆内々定保有率(3月～7月の推移)



## ◆内々定保有社数(平均)、複数内々定保有率

選考活動開始初月(17卒は6月末、16卒は8月末時点)の数値での比較

内々定保有社数(平均) (単位:社)	内々定保有社数(平均)					複数内々定保有率
	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	全体
17年卒6月末(全体)	2.0	2.2	2.0	1.9	1.8	53.3%
16年卒8月末(全体)	2.1	2.3	2.0	2.0	1.9	54.7%

(図2)

## ◆内々定保有者の活動終了状況

	17年卒					16年卒				
	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
内々定先に満足したので終了する(終了している)	60.0%	53.6%	70.8%	55.4%	61.6%	64.2%	60.8%	73.7%	57.4%	66.8%
内々定先に不満だが活動は終了する(終了している)※	3.0%	3.5%	2.5%	2.5%	4.2%	4.2%	3.4%	4.9%	3.9%	4.9%
内々定先に不満なので続行する	11.5%	13.6%	8.7%	13.1%	8.8%	10.8%	12.4%	6.6%	13.8%	9.5%
内々定先に不満でないが、他の企業も見たいので続行する	24.3%	27.9%	17.0%	27.9%	23.9%	19.7%	22.4%	14.0%	23.4%	16.7%
その他	1.2%	1.3%	1.1%	1.1%	1.5%	1.2%	0.9%	0.9%	1.4%	2.0%

※は今年から追加

(図3)

## ◆内々定保有率(地域別)

選考活動開始初月(17卒は6月末、16卒は8月末時点)の数値での比較

	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州
17年卒	63.5%	64.1%	62.5%	70.7%	65.0%	77.8%	64.3%	64.8%	75.1%	57.8%
16年卒	72.5%	69.0%	67.1%	65.7%	69.4%	76.0%	68.3%	67.5%	64.8%	70.2%

(図4)

『図1～4 出所:2015年～2017年卒マイナビ大学生就職内定率調査』